

「〇〇つくろうよ～」



これ、  
滑り台だよ～



じゃじゃーん！  
三階建て～！！

「せんせい、みてみて～！！」と自分で作り上げた積み木を先生や友達に披露したり、「滑り台つくろうよ～」とお友達を誘ったりして遊ぶようになってきたきりん組。

ある日積み木で遊び始めたお友達の周りに「ねえなにしてるの～？」とほかのお友達が集まり、一緒に積み木遊びが始まりました。

「ここはさ、〇〇公園にあるような滑り台だから、高くシューってするの」「じゃあここは、〇〇を作ろう」と子供たちがそれぞれの思いを遊びに寄せ集め、ダイナミックな滑り台を作り上げていきます。お友達と一緒に遊んでいるとイメージがどんどん膨らむようで「滑り台が終わると、ここはびゅーんて線路に合体して・・・」とさらに遊びが広がっていました。

お友達と一緒に過ごすことが心地よくなってきたこの時期。さらに一緒にいることだけでなく、一緒に遊びたいという気持ちが大きくなってきたようでした。そんな子供たちの笑顔から、わくわくした楽しい思いがにじみ出ていてとてもかわいらしかったです。

お友達と一緒に遊ぶ中で、のびのびと遊ぶだけでなく考えながらイメージを形にする楽しさや喜びを感じてほしいと思います。